

科目名	専攻ダンススキル7							年度	2026	
英語科目名	Major Dance Skills 7							学期	前期	
学科・学年	ダンスパフォーマンス科	2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習+実技
担当教員	早川咲		教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロシナガー		
【科目の目的】 このレッスンではダンスボーカリストとして必要な発声や歌唱実習、リズムトレーニングを中心にグループでのアンサンブルやダンスの構成まで総合的に学びます。ボーカルダンスを意識した呼吸法の習得を第一とし、その後の応用としてオーディション対策やグループを形成し発表を行います。授業以外でも毎日実践できる体操や呼吸法を授業内で指導しますので、自主練習をすることでより技術の習得ができます。										
【科目の概要】 この科目では発声の為の体の使い方、呼吸法を習得します。リズムトレーニングと合わせてダンスボーカルの基礎、応用を習得しますのでオーディション対策にもつながります。グループ指導の他、個人指導も行うので個人の特性に合わせた細かな指導ができます。学生がそれぞれの目標に向けて各自の長所を伸ばしながら短所を克服することが目標です。										
【到達目標】 A. ボディエクササイズを理解し、習慣的に実践した成果がわかる。 B. 発声・ハミングのメカニズムを理解し、習慣的に実践した成果がわかる。 C. 楽曲通りのリズム・音程通り歌う事ができ、またコンセプトを理解した表現できる。 D. 楽曲のコンセプトを理解し、見せ方など細かく研究したパフォーマンスができる。 E. プロ意識をもったライブパフォーマンスができる。										
【授業の注意点】 学んだメソッドを毎回復習してレッスンに臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている			レベル3 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	ボディエクササイズを理解し、習慣的に実践した成果がわかる			ボディエクササイズを理解し実践できる				ボディエクササイズを理解できない、実践することができない。		
到達目標 B	発声・ハミングのメカニズムを理解し、習慣的に実践した成果がわかる			発声・ハミングのメカニズムを理解し実践できる				発声のメカニズムを理解できていない実践することができない		
到達目標 C	楽曲通りのリズム・音程通り歌う事ができたコンセプトを理解した表現できる			楽曲通りのリズム・音程通り歌う事ができる				楽曲のリズム・音程通り歌えない		
到達目標 D	楽曲のコンセプトを理解し、見せ方など細かく研究したパフォーマンスができる			楽曲のダンスを踊ることができる				楽曲のコンセプトを理解したダンスや表情管理ができない		
到達目標 E	プロ意識をもったライブパフォーマンスができる			ライブパフォーマンスをする努力がみえる				ライブパフォーマンスができない		
【教科書】 必要のある場合はプリントを配布する										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】 試験・課題 40% 試験と課題を総合的に評価する 平常点 60% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		専攻ダンススキル7			年度	2026
英語表記		Major Dance Skills 7			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ステージ発表①の準備(ライブコンセプト決め)	全員で同じ目標を定める	1 コンセプト決め	ライブのコンセプトを話し合い、明確な目標を定める	2	
			2 グループ決め	コミュニケーション能力を高める		
			3 曲・セットリスト決め	コンセプトに沿った楽曲を・セットリストを考え観客の視点になって考える		
2	ステージ発表②の準備(楽曲コンセプト決め)	チームで同じ目標を定める	1 楽曲のコンセプト決め	チームでコンセプトを決め共通の目標を決める	2	
			2 歌割決め	チームでコンセプトにあった歌割をきめる		
			3 衣装決め	チームでコンセプトにあった衣装案を考える		
3	ボディエクササイズ・発声の復習	基礎の復習	1 ボディエクササイズ	ボディエクササイズの復習をする	2	
			2 プレスコントロール	プレスコントロールの復習をする		
			3 タンエクササイズ	タンエクササイズの復習をする		
4	ステージ発表準備①(歌唱のみ)	楽曲をとおして基礎を復習	1 ボディエクササイズ・発声	正しい姿勢で正しい発声ができるウォーミングアップをする	2	
			2 母音チェック	楽曲の母音を書き出し母音でしっかり発声できる		
			3 リズム	楽曲のリズムを理解し正しくリズムをがとれる		
5	ステージ発表準備②(歌唱のみ)	楽曲の主旋律のメロディーラインの歌唱練習	1 発声	ボディエクササイズ・発声練習を行いウォーミングアップをする	2	
			2 聞き取り	周りのハーモニーを聴きながら自身のメロディーラインを聞き取れる		
			3 母音チェック	楽曲の母音を書き出し母音でしっかり発声できる		
6	ステージ発表準備③(歌唱のみ)	楽曲の主旋律のメロディーラインの歌唱練習	1 聞き取り	楽曲をききながら自身のメロディーラインを聞き取れる	2	
			2 歌唱	メロディーラインを正しく歌唱することができる		
			3 表現	楽曲を理解した表現ができる		
7	ステージ発表準備④(歌唱のみ)	楽曲のハーモニーの歌唱練習	1 聞き取り	周りのハーモニーを聴きながら自身のメロディーラインを聞き取れる	2	
			2 ハモリ	メロディーを聞き頭の中でハーモニーラインを鳴らすことができる		
			3 実演	グループでのコーラスワークができる		
8	ステージ発表準備⑤(歌唱のみ)	学んだ事の実演	1 歌唱	自信の歌割を正しく歌唱できる	2	
			2 表現	楽曲を理解した表現ができる		
			3 講評	先生からここまでの講評をいただき、課題点を理解する		
9	ステージ発表準備⑥(ダンスヴォーカル)	楽曲をとおして基礎を復習振り返りを覚える	1 発声	ボディエクササイズ・発声練習を行いウォーミングアップをする	2	
			2 母音チェック	楽曲の母音を書き出し母音でしっかり発声できるようにする		
			3 ダンス	楽曲のダンスの振り覚えパフォーマンスできる		
10	ステージ発表準備⑦(ダンスヴォーカル)	楽曲のコンセプトに沿った歌唱・ダンスのスキルを磨く	1 歌唱練習	発声含めた、歌唱練習を行い歌唱のレベルを高める	2	
			2 ダンス	楽曲のダンスの振り・構成を覚えパフォーマンスできる		
			3 表現	楽曲を理解した表現ができる		
11	ステージ発表準備⑧(ダンスヴォーカル)	楽曲のコンセプトに沿った歌唱・ダンスのスキルを磨く	1 歌唱練習	発声含めた、歌唱練習を行い歌唱のレベルを高める	2	
			2 ダンス	楽曲のダンスの振り・構成を覚えパフォーマンスできる		
			3 表現	楽曲を理解した表現ができる		
12	ステージ発表準備⑨(ダンスヴォーカル)	グループとしてのパフォーマンスのスキル・協調性を磨く	1 表現	本番同様のパフォーマンスを行い楽曲のコンセプトを理解した表情管理ができる	2	
			2 マイキング練習	マイクをもったパフォーマンスに慣れるまたマイクを通して発声ができる		
			3 チームワーク	個人プレーにならないよう、チームワークをもってパフォーマンスができる・協調性を磨く		
13	ステージ発表準備⑩(ダンスヴォーカル)	グループとしてのパフォーマンスのスキル・協調性を磨く	1 表現	本番同様のパフォーマンスを行い楽曲のコンセプトを理解した表情管理ができる	2	
			2 マイキング練習	マイクをもったパフォーマンスに慣れるまたマイクを通して発声ができる		
			3 チームワーク	個人プレーにならないよう、チームワークをもってパフォーマンスができる・協調性を磨く		
14	ステージ発表準備⑪(ダンスヴォーカル)	グループとしてのパフォーマンスのスキル・協調性を磨く	1 表現	本番同様のパフォーマンスを行い楽曲のコンセプトを理解した表情管理ができる	2	
			2 マイキング練習	マイクをもったパフォーマンスに慣れるまたマイクを通して発声ができる		
			3 チームワーク	個人プレーにならないよう、チームワークをもってパフォーマンスができる・協調性を磨く		
15	ステージ発表	ライブ実習	1 リハーサル	本番同様のリハーサルを行う	2	
			2 パフォーマンス	実際に集客ありのライブでパフォーマンスができる		
			3 講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等